

地球温暖化対策について

平成22年5月19日
環境生活部環境局地球温暖化対策室

北海道地球温暖化対策推進計画の策定

(概要は別紙1)

- 平成21年3月 北海道地球温暖化防止対策条例の制定
 - 平成22年5月 7日 北海道環境審議会答申
 - 5月19日 北海道地球温暖化対策推進本部員会議の開催(第1回)
 - ・ 北海道地球温暖化対策推進計画の決定
 - ・ ガイア・NEXTプロジェクトの推進
- 公表

「ガイア・NEXTプロジェクト」の推進

(事業一覧は別紙2)

地球温暖化防止に向けて地域から貢献していくため、北海道地球温暖化対策推進計画に基づき、地球温暖化対策を総合的に進めていくため、重点的に取り組む施策を『ガイア・NEXTプロジェクト』と名付けて、北海道らしい低炭素社会の実現に向けて推進する。

ガイア・NEXTプロジェクト

各部連携の下、次の三つの柱を重点的に取り組む

(総額 約89億9200万円)

○ 低炭素型ライフスタイル・ビジネススタイルへの転換

22年度事業費(611,068千円)

- ・北海道低炭素社会ビジョン検討事業(新規) [2050年頃を目途とした低炭素社会の具体的な将来像と道筋を示す長期ビジョンの検討]
- ・カーボンアクション支援事業(新規) [カーボンオフセット等の取組の促進に向け、関係機関の情報共有と発信の場となる北海道カーボン・アクション・パートナーシップ(仮称)の設立]
- ・エコチェンジファミリー推進事業(新規) [家庭でのエコ行動の促進に向け省エネナビ等を活用したCO2削減量の「見える化」の取組]
- ・ガイアナイトキャンペーン事業(継続) [7月7日を中心としたガイアナイトキャンペーンの実施]

○ 地域の特性を活かした環境にやさしいエネルギーの導入

22年度事業費(2,323,023千円)

- ・木質バイオマス大規模利用促進事業(新規) [地域熱供給等、本道の特性に応じた分野をターゲットとする事業化モデル地区を設定し、林地未利用材の低コスト集荷安定供給と大規模エネルギー利用の事業化に向けた合意形成等を図る]
- ・エネルギー「一村一炭素おとし」(仮称)事業(新規) [市町村が民間企業等と協働して、地域の特色を生かした省エネ・新エネ事業を通じて、地域経済活性化を図る取組を支援]

○ 二酸化炭素吸収源としての森林の整備・保全等の推進

22年度事業費(6,057,749千円)

- ・森林整備加速化・林業再生事業費(新規) [地方公共団体等が行う間伐、路網整備、間伐材等の加工流通施設や木造公共施設の整備などの取組を支援]

環境生活部環境局地球温暖化対策室

担当:田畑 ダイヤルイン 011-204-5189 内線 24-209

「北海道地球温暖化対策推進計画」の概要

<第1章> 総論

※計画策定の趣旨・位置づけ・計画の期間・対象ガス等について記載。

- 計画の期間：2010（平成22）年度～2020（平成32）年度
- 目指す姿：本道が21世紀半ばに目指す姿を「家庭」「事業活動」「地域」の3つの視点で整理

<第2章> 対策の現状及び課題

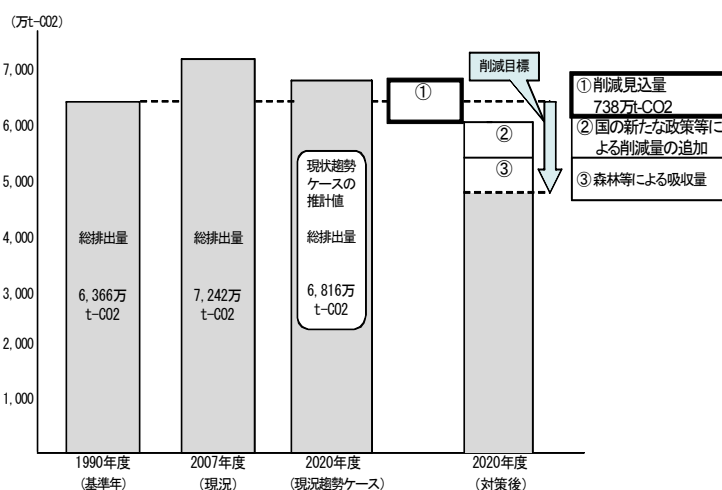
※温暖化のメカニズム・現状・取組、排出量の現況推計について記載。

- 2007（平成19）年度の温室効果ガス排出量 ～ 7,242万t-CO₂
- 2007年度の排出量から森林吸収量を除いた差引排出量 ～ 6,389万t-CO₂
(1990年度（基準年）比0.4%増)

<第3章> 削減目標

※排出量等の将来予測、削減目標設定の考え方などについて記載。

- 基準年及び目標年
 - ・ 基準年：1990（平成2）年度
 - ・ 目標年：2020（平成32）年度
- 削減目標（削減量）
 - ・ 2020（平成32）年度の推計排出量から、当面、738万t-CO₂の削減量を見込む。
- 温室効果ガス削減シナリオ
 - ・ 温室効果ガスの削減量は、現段階で積算が可能な国や道の各種計画などから積算。
 - ・ 現時点で明らかにされていない新たな国の施策（地球温暖化対策税、国内排出量取引制度等）及び、2013年以降に国際算定ルールなどが明らかになる森林吸収量については、算入しないこととし、今後、これらが明らかになった段階で、削減目標等の見直しを行うものとする。



<第4章> 対策・施策

※排出抑制等の対策・施策、重点施策について記載。

- 部門ごとの対策・施策
 - ・ 産業、運輸、民生（家庭・業務）、工業プロセス、エネルギー転換の各部門ごとに記載
- 重点施策
 - ・ 本道の地域特性や強みを活かして、重点的に取り組む施策について記載
 - ・ 低炭素型ライフスタイル・ビジネススタイルへの転換
 - ・ 地域の特性を活かした環境にやさしいエネルギーの導入等
 - ・ 二酸化炭素吸収源としての森林の整備・保全等の推進

<第5章> 推進体制等

※各主体の役割、推進体制、進捗状況の把握・評価などについて記載。

- 各主体の役割
 - ・ 道、事業者、道民、民間団体、市町村の役割のほか、北海道地球温暖化防止活動推進センターや北海道地球温暖化防止活動推進員等の役割を明示
- 計画の推進体制
 - ・ 庁内（知事を本部長とする「北海道地球温暖化対策推進本部」）及び地域における推進体制
 - ・ 施策の実施状況の評価・公表（毎年）を明示

平成22年度『ガイア・NEXTプロジェクト』事業

I 低炭素型ライフスタイル・ビジネススタイルへの転換

○ 北海道らしい低炭素社会づくりのための長期ビジョンの策定【新規】

北海道低炭素社会ビジョン検討事業【環生】	2050年頃を目途とした低炭素社会の具体的な将来像と道筋を示す長期ビジョンの検討	15,000千円
----------------------	--	----------

○ 本道の森林やバイオマス資源を活用したカーボン・オフセット等の普及促進【新規】

カーボンアクション支援事業【環生】	○関係機関の情報共有と発信の場となる北海道カーボン・アクション・パートナーシップ（仮称）の設立 ○市町村や民間企業と連携した削減プロジェクトの実施、カーボン・クレジットの創出	2,605千円
-------------------	--	---------

○ 「CO₂見える化」など道民とともに取り組む環境行動の加速化【新規・継続】

エコチェンジファミリー推進事業【環生】	エコチェンジ・ファミリーによる「CO ₂ 見える化」の取組	2,785千円
エコドライブ普及促進事業【環生】	アイドリングストップ等エコドライブの推進	2,836千円
ガイアナイトキャンペーン事業【環生】	7月7日を中心としたガイアナイトキャンペーンの実施	1,184千円
北海道未来づくり環境展開催事業【環生】	優れた環境技術等を発信する北海道未来づくり環境展2010の開催	5,724千円
地球温暖化対策に係るポータルサイト構築事業【環生】	地球温暖化に関する情報を提供するポータルサイトの構築	11,649千円

○ 気候変動に関わる研究分野のネットワーク化の支援【新規】

北海道気候変動観測ネットワーク設立記念フォーラム開催支援事業【環生】	「北海道気候変動観測ネットワーク（HSCC）」との連携	1,000千円
------------------------------------	-----------------------------	---------

○ 事業者におけるカーボンフットプリント等の取組の促進【新規】

カーボンフットプリント・国内クレジット等普及促進事業費【経済】	道内の事業者に対して「カーボンフットプリント」等への対応を促進	11,836千円
---------------------------------	---------------------------------	----------

○ 省エネ・新エネ導入効果の「見える化」【拡充】

省エネ・新エネ導入効果「見える化」推進事業【経済】	地域の中小企業における省エネルギー・新エネルギーの推進を図るため、中小企業者に対する省エネ新エネの普及啓発から設備導入に至るトータルな支援を行う	7,801千円
---------------------------	--	---------

○ 北海道らしい循環型社会の形成【継続】

循環型社会推進費（3R推進費）【環生】	循環型社会の形成に向け、3Rに関する普及啓発を実施。バイオマスを有効に利用するため、産学官及び地域が連携してバイオマス利活用に向けた取組を推進	4,770千円
循環資源利用促進事業費【環生】	循環資源利用促進税を財源に排出事業者等が行う施設設備整備等に対して助成	543,878千円

II 地域の特性を活かした環境にやさしいエネルギーの導入等

○ グリーンニューディール基金を活用した省エネ化・新エネ化の促進【継続】

グリーンニューディール基金事業【環生】	公共施設及び民間施設の省エネグリーン化、再生可能エネルギーの利用促進	874,074千円
---------------------	------------------------------------	-----------

○ 省エネ・新エネを中心とした成長発展分野の企業誘致の推進【新規】

成長発展分野重点誘致推進事業費【経済】	積極的な投資が見込まれている省エネルギー・新エネルギー分野を中心とした環境関連分野、健康関連分野積雪・寒冷な立地環境を活かした「環境配慮型データセンター」といった成長発展が期待される分野の企業誘致を重点的に展開	11,797千円
---------------------	---	----------

○ エコ家電等のアドバイザーの育成【新規】

消費者行政活性化研修会開催事業【経済】	省エネルギー・新エネルギー機器に関する正確な情報提供により、消費者被害を未然に防ぐため、地域の家電販売店や工務店等の経営者等を、エコ家電等のアドバイザーを担う人材として育成	9,484千円
---------------------	--	---------

○ **林地未利用材の低コスト集荷・安定供給と大規模エネルギー利用の事業化に向けた合意形成等の推進【新規】**

木質バイオマス大規模利用促進事業【水林】	木質バイオマスのエネルギー利用を促進するため、地域熱供給や食品加工等、本道の特性に応じた分野をターゲットとする事業化モデル地区を設定し、林地未利用材の低コスト集荷安定供給と大規模エネルギー利用の事業化に向けた合意形成等を図る。	3,340千円
----------------------	---	---------

○ **省エネ・新エネ促進行動計画の策定【新規】**

省エネ・新エネ促進行動計画策定費【経済】	北海道省エネルギー・新エネルギー促進行動計画の改定に向け有識者検討会議を開催するとともに、計画改定を機に、計画内容の周知や地域の取組を喚起するための普及啓発を実施	9,650千円
----------------------	---	---------

○ **環境エネルギー関連市場への対応力の強化【新規】**

地域エネルギー産業参入促進事業【経済】	今後成長が見込まれるエネルギー関連市場への対応力の強化を図るよう、道有施設等における省エネ・新エネに向けた率先行動を喚起し、道内資源・技術を活用したコスト面・環境面での創意工夫と産業間連携を促進	89,735千円
産学連携道産低炭素化技術振興モデル事業【経済】	本道の気候条件や地域に賦存するエネルギー資源及び道内技術を活かしたエネルギー関連産業の創出拡大を図るため、道内大学や公設試験等との連携により、供給側・需要側の企業・団体等が一体となって行う、低コスト化、低炭素化に向けた先進的な取組を支援	90,000千円

○ **エネルギー対策を通じた地域活性化の支援【新規】**

エネルギー「一村一炭素おとし」(仮称)事業【経済】	市町村が民間企業やNPO等と協働して、地域の特色を生かした省エネ・新エネ事業を通じて、地域経済活性化を図る取組を支援	201,000千円
---------------------------	--	-----------

○ **省エネ住宅の普及推進と販路拡大【新規】**

CO ₂ 削減省エネ・エコ住宅推進事業【建設】	住宅におけるCO ₂ 削減を図るため、暖房エネルギー消費量等を把握するソフト開発を行い、省エネ・エコ住宅の普及推進を行う。	5,000千円
------------------------------------	--	---------

○ **バイオガス発電やバイオ燃料製造などの循環利用施設整備支援【継続】**

バイオマス利活用フロンティア推進事業【農政】	バイオマスの利活用を推進するため、バイオガス発電やバイオ燃料製造(バイオディーゼル燃料、木質ペレット製造)などの循環利用の施設の整備を支援する。	1,028,943千円
------------------------	--	-------------

○ **再生可能エネルギーによる発電施設等の導入支援【継続】**

地域新エネルギー導入アドバイザー制度【企業】	小水力発電等の再生可能エネルギーによる発電施設等を設置する市町村に対し、技術・経営の両面からアドバイスをを行い、導入を支援	
------------------------	---	--

Ⅲ 二酸化炭素吸収源としての森林の整備・保全等の推進

○ **森林整備の加速化と森林資源を活用した林業・木材産業の再生【新規】**

森林整備加速化・林業再生事業費【水林】	地方公共団体等が行う間伐、路網整備、間伐材等の加工流通施設や木造公共施設の整備などの取組を支援	6,045,601千円
---------------------	---	-------------

○ **カーボン・オフセットを活用した森林整備の仕組みづくり【継続】**

カーボン・オフセット活用型森林づくりモデル事業【水林】	森林バイオマスのエネルギー利用による二酸化炭素の排出削減量を、カーボン・オフセットに活用し、森林を整備する仕組みづくりを行う。	1,590千円
-----------------------------	---	---------

○ **道民との協働による森林づくりの推進【継続】**

「エコ・チャレンジの森」推進事業【水林】	家族連れなどが気軽に森林づくりに参加できるフィールドを道民の森に設定し、植樹活動を推進する。	1,797千円
北の大地の森林づくり促進事業【水林】	洞爺湖畔に設定した「サミット記念の森」での植樹・保育活動や、漁業関係者が消費者と連携して取り組むお魚増やす植樹活動を推進する。	8,761千円